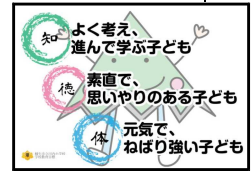




川内小学校だより

ゆずり葉

第5号
令和元年7月1日
桐生市立川内小学校発行



学習参観・懇談会ではお世話になりました！

4月の学習参観から2か月以上が経って、今年度第2回目の学習参観でしたが、子どもたちの学習に取り組む姿はいかがでしたか。逞しさを増した子どもたちが生き生きと学んだり活動したりする様子を感じ取っていただければ、こんなに嬉しいことはありません。

2019年は7月に入り、半分となる折り返し時期を過ぎました。そして学校の方では、今月19(金)で終業式を迎え、夏季休業に入ります。よい状況を維持しながら長期休業を迎えられるように、あと半月ほどですが、1学期の締めくくりを充実させたいと考えています。これから暑さが日増しに厳しくなることが予想されますが、お子さんの健康管理に加え、ご家族の皆様方におかれましてもご自愛いただければ幸いです。



避難訓練—そして、引き渡し訓練、ご協力ありがとうございました。

先週の避難訓練は、やや大きな地震が発生したことを想定した訓練でした。訓練が始まると子どもたちは校内放送や担任の指示に沿って素早く机の下に身を移動させ、蛍光灯などの落下物や天井の崩れ落ちに備えました。その後は校内放送の指示による担任の誘導の基、速やかに校庭に避難しました。



今回の避難訓練に際して、子どもたちに意識させたことは「真剣に取り組む」というものでした。いい加減な気持ちやふざけ気味の態度では、訓練の効果は期待できません。真剣に取り組むことにより、万が一、想定に近い災害が発生した時に、自分の「身を守る」「命を守る」ことに結びついていくと考えられます。災害はいつどこで発生するかの予想は困難です。夜中だったり、休日だったりすることもあれば、家族で一緒にいたり、そうでなかったりするときもあります。年に1度くらいは、緊急避難バッグを確認するとともに、家族会議で避難時の役割分担や、いざというときの集合場所について話し合っておくとよいかもしれませんね。

引き渡しでは、全体的な流れや状況について、スムーズに行えたことを多くの教職員が評価していました。大勢の保護者の皆様のご理解とご協力によりスムーズに実施できたこと感謝申し上げます。

水泳特別練習への参加

先週から水泳特別練習が始まりました。自らの希望により、参加している子どもたちです。「泳力を伸ばす」という点では、参加しているどの子どもも同じですが、すでにある程度の泳力をもって、「さらに力を伸ばし、桐生市の「水泳記録会」に挑戦」という子どももいれば、「あまり水泳が得意でないで泳力を付けたい」という子どももいます。いずれにしても、自分から挑戦し前に進んでいこうという気持ちは大いに評価できます。



様々な事柄において、自分なりの挑戦・努力により力を伸ばすことができれば、こうした経験、そこから得た自信は他の活動や生活場面でも生かされます。「何もしなければそのまま」ですが、「粘り強く挑戦し続ければ何かが変わる・備わる」は誰もが納得することです。

今回は水泳を例にお伝えしましたが、子どもたちには、すでに取り組み、継続していることがあるかもしれませんね。これから先、身の回りの様々な事柄や場面から、「前向きに挑戦する」「粘り強く取り組む」をどんどん見付け、正面から向き合い、そして挑戦し、力を伸ばし蓄えてほしいと願っています。



地域のみんなで子どもたちを見守る

地域の方から、時々学校へ情報をいただきます。子どものよさが見られた時、注意を促したい時、どちらの場合もあります。（後者の方が多いのですが一。）後者については『交通安全』にかかわることが目立ちます。“急な飛び出し” “横断歩道がない場所での横断” などです。いただいた情報を基に、翌日には関係児童に反省を促し安全意識を高める働きかけができます。（ご連絡に感謝します。）

「校長室でのつぶやき」

私は小学校4年生の時、交通事故に遭いました。忘れもしない、ちょうど暑くなってきた今頃、もうすぐ夏休みに入るという7月14日の午後でした。学校からいったん帰宅した後、自転車に乗って出かけていた最中のことでした。狭い道で前方から走ってきたマイクロバスとの接触でした。ぶつかる一瞬前までの記憶は残っているものの、その後のことはよく覚えていません。後で病院に駆け付けた父から聞いた話では、処置している間ずっと、手術室で「痛い、痛い」と泣き叫んでいたそうです。それからすぐ夏休みに入ったものの、事故で頭を強くぶつけ、20針ほど縫う裂傷もあったため、退院できる見込みは全く立たず、夏休みはずっと病院のベッドの上。48日間という長い入院生活でした。退屈でつまらない夏休みにしてしまったという記憶だけは今だに鮮明に残っています。

それから、毎年7月14日になると、その日は起きてから寝るまでの間、1日中、安全に配慮しながら過ごしています。今年ももうすぐその日を迎えます。私にとっては、1年の中で最も用心しなければならない日がやって来ます。